

地震災害とは？

地震による災害は、建物倒壊、火災の発生、土砂崩れ、液状化現象などがあります。建物倒壊や土砂崩れなどによって道路が通れなくなったり、線路の安全確認により電車が動かなくなる交通障害もあります。また停電やガスの停止、水道の断水が起こる場合もあり、電話やインターネットもつながりにくくなります。

地震のときの行動は？

地震の揺れを感じた場合や緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにまずは身の安全を確保してください。そして落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンなどで正確な情報の把握に努めましょう。

地震発生

1~2分

最初の大きな揺れは約1分間

- あわてずに身の安全を確保する



揺れがおさまったら

- 火元を確認する 火が出たら、落ち着いて初期消火する
- 家族の安全を確認する 倒れた家具の下敷きになっていないか確認する
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦の落下・ブロック塀の倒壊・自動販売機などの転倒に注意する



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- | | | |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 隣近所に
声を掛けよう | ●要配慮者の安全を確保する | ●隣近所で助け合う |
| 出火防止
初期消火 | ●消火器を使う | ●余震に注意する |
| | ●漏電・ガス漏れに注意する | ●ケガ人はいないか確認する |
| | | ●電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める |

3分

テレビ・スマートフォン・ラジオなどで正しい情報を確認する

- 防災機関、自主防災組織の情報を確認する
- デマにまどわされないようにする ●避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



5分

協力して消火活動、救出・救護活動をする

- 水、食料は蓄えているものでまかなう
- 災害・被害情報を収集する ●壊れた家に入らない
- 近くの人を救出・救護する



10分
数時間
3日

屋内にいる場合

- 頭を保護しながら丈夫な机の下などに隠れる
- 火の確認はすみやかにする(ガスの元栓の処置も忘れずに)
- 高齢者や障がい者、乳幼児など要配慮者の安全を確保する
- 裸足で歩き回らないようにする(ガラスの破片などでケガをする)
- 大規模店舗や集客施設にいるとき
- つり下がっている照明などの下から避難する
- あわてて出口や階段に殺到しない
- エレベーターに乗っているとき
- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる

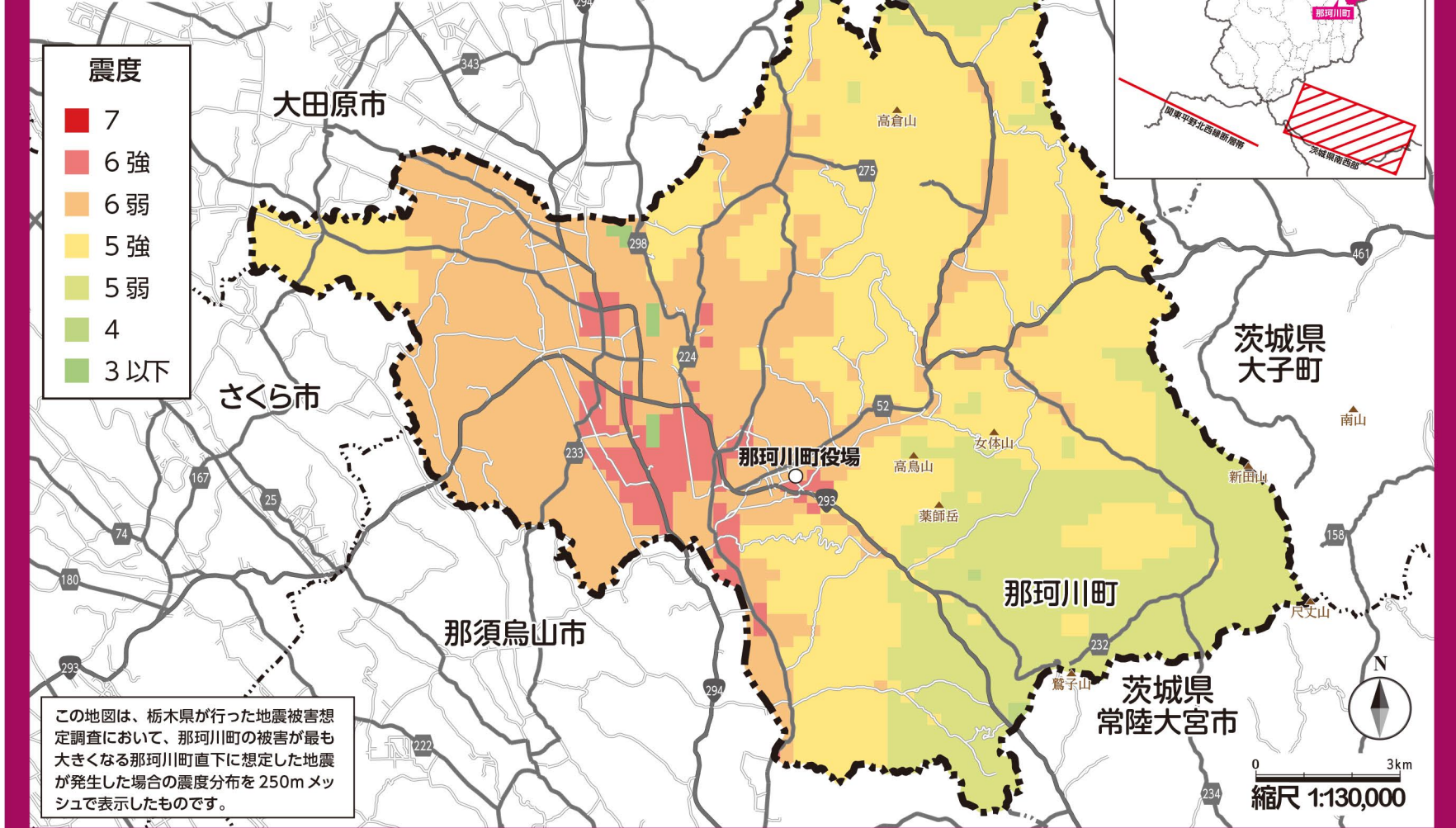
屋外にいる場合

- 路上
- ブロック塀や自動販売機には近づかず、ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意する
- 頭をカバンなどで保護する
- 車を運転中
- あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず徐々に速度を落とす
- 避難するときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない
- 車検証などの貴重品を忘れずに持ち出す
- 山や崖付近にいるとき
- 落石や崖崩れに注意し、できるだけその場から離れる



震度分布図

(那珂川町直下に想定した地震)



液状化可能性分布図

(那珂川町直下に想定した地震)

